

「脳神経科学統合プログラム」 事業概要

- 基礎と臨床、アカデミアと産業界との連携を推進し、これまでの研究基盤・開発技術等を最大限活用・発展
- 脳神経疾患・精神疾患の診断・治療・創薬等シーズの研究開発を推進

中核拠点 令和6年3月5日 支援開始
研究開発代表者 影山龍一郎（理化学研究所）

- 統括機能と研究開発・推進機能を併せ持ち、他の機関とも連携して基礎研究の成果を臨床応用につなげる

➤ 統括チーム

- ・ 事業推進に関する支援（支援班と連携）
- ・ 基礎と臨床、産学、国際連携の推進
- ・ 研究成果の取りまとめ・発信、人材育成

➤ 研究チーム

- ・ 個別重点研究課題と連携しながら研究を実施

個別重点研究課題 令和6年8月末より支援開始
全97課題

領域1 革新的技術・研究基盤の整備・開発・高度化

領域2 ヒト高次脳機能のダイナミクス解明

領域3 神経疾患・精神疾患に関するヒト病態メカニズム解明

領域4 デジタル空間上で再現する脳モデル開発・研究基盤（デジタル脳）の構築

領域5 神経疾患・精神疾患の治療等のシーズ開発

研究・実用化支援班 令和6年12月中旬より支援開始
全2課題

- 知財戦略の策定などの実用化支援
- 倫理課題への対応

